

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）
------------------	-----	----------------------------

1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	（常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本
-------------------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	4人	2人	2人	12人

前回の改善計画	・利用開始前にできるだけ十分な情報を共有し、スタッフが援助内容について統一した理解を得られるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用前にミーティングを行いアセスメントをもとに支援方針を検討・確認しサービス提供するスタイルが定着化し、担当の職員になるべく関わってもらい傾聴と積極的なコミュニケーションにより初期段階で本人の思いをくみ取ることができている。 ・本来必要と感じる支援に関しても職員から不満が出ることがあり、利用者主体ではなく業務主体のプランになってしまうことがある。利用開始前の担当者会議には、参加できていない介護職員もいる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2人	10人			12人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3人	6人	2人	0人	11人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	3人	6人	2人	0人	11人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2人	6人	3人	0人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・担当の職員になるべく関わってもらうというスタイルが定着してきており、傾聴と積極的なコミュニケーションにより思いをくみ取り、少しでも多くの関わりを持つことができている。 ・利用前にミーティングを行いアセスメントをもとに支援方針を検討・確認し、サービス提供できている。 ・ケアマネジャーと現場間の情報共有がスムーズに行えており、利用者が安心して安全に過ごして頂けるようにできている。 ・利用開始前の利用者ニーズや利用されてまだ日の浅い利用者に対しては、安心して通いの場で過ごして頂けるよう配慮している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・ゆとりの無さや個々の職員のスキル・利用者支援に対するモチベーションの差異から、本来必要と感じる支援に関しても職員から不満が出ることがあり、利用者主体ではなく業務主体のプランになってしまうことがある。 ・見切り発進になってしまうことがある。実際に利用開始しないと分からないことも多い。 ・利用開始前の担当者会議には、参加できていない介護職員もいる。 ・利用者の状態や環境の変化に伴うタイムリーな支援内容の変更が実施できていない時がある。 ・一手間かけられると望ましいのにも思っても人手不足でその手間がかけられない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用開始前の担当者会議には、担当の介護職員ができる限り参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

2. 「～したい」の実現
（自己実現の尊重）

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	・本人の「～したい」という具体的な希望を聞き出す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員間でのミーティングで利用者本人の「～したい」という声と聞き取りと共有化が進んでおり、達成または少しでも近づけるようにチームで意識しながら支援を行うことができた。 ・利用者全員の「～したい」を把握するため、本人の話を聞いて「知る」ために思いをくみ取るための時間確保や仕組み作りが必要。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2人	6人	4人	0人	12人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2人	8人	2人	0人	12人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2人	7人	3人	0人	12人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2人	6人	4人	人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・入浴できていない利用者様の思いや体調に寄り添いながら、思いの実現に向かって目標達成に近づけることができている。 ・職員間でのミーティングで「～したい」等の聞き取りした声が共有できており、達成または少しでも近づけるように支援している。 ・本人の言葉に耳を傾け聞き取り、連絡帳等からも家族の思いをキャッチし対応する機会が増えた。 ・日頃から自立支援を意識したサービス提供が行えており、一部ではあるが本人の「～したい」の実践が進んでいる。 ・本人の長期・短期目標は把握できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングなどで情報共有が不十分で、本人の思いに沿った支援が行えていないこともある。また利用者全員の「～したい」を把握する仕組みづくりが進んでいないため、本人の話を聞いて「知る」ために思いをくみ取るための時間確保や仕組み作りが必要。 ・担当する利用者の通いが週2回でその日必ずしも出勤しているとは限らないことから、利用者の目標を達成する為の支援が不十分になってしまうこともある。家族の思いがキャッチ・共有化できていないこともある。 ・利用者から「～したい」が聞き取れても、当面の希望が多くきめきでできることが少ない場合も多い。利用者が地域で食事や買い物に行けるような支援体制が取れていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・利用者全員の「～したい」という具体的な望む暮らしについての意見を把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日木曜日（16:30～17：00）
3. 日常生活の支援	メンバー	（常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画	・本人の以前の暮らし方や現在の生活の中で、満足できることをアンケートにて知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日次のミーティングの定期開催で情報の共有化が迅速に行え気づきが増えたことで本人の気持ちに合わせて都度タイムリーな対策や支援につなげることができている。 ・全利用者ごとの「以前の暮らし方」が10個以上把握できていない。アンケート実施が行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0人	4人	7人	1人	12人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2人	7人	2人	1人	12人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1人	7人	4人	人	12人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人	5人	3人	0人	12人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	2人	6人	4人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の変化に気づいた時点で、日次のミーティングなどで情報共有できている。 ・日次のミーティングが定期開催できるようになったため、情報の共有化が迅速に行えるようになり、気づきが増えている。 ・共有された事柄に関しては対策したり支援につなげることができている。 ・本人の気持ちに合わせて支援の変更などを行うことができている。 ・夜勤専属職員にも電子記録および申し送りにより、利用者に関わる重要な情報や付随する留意点について共有できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の気持ちや体調の変化に即時に対応し支援が行えない時がある。家族と職員がゆっくり話をする機会が少ない。 ・本部が年1回実施する満足度アンケートの結果や、本人の「声にならない声」を言語化しサービス提供に反映させる必要がある。 ・送迎、訪問業務に携わっていないため、利用者の自宅での生活環境を把握できない。 ・本人の自宅での暮らしに繋がる自立支援が難しいと感じるケースも増えている。 ・職員ごとの利用者への興味・関心の差異がある為か、課題を提示するのが一部の職員に限られている。対策を取っても後日その振り返りが行われず、やりっぱなしになっていることが多い。ケース記録の未入力により情報伝達が遅れる場合もある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・全利用者の「以前の暮らし方」を10個以上把握する（アンケートや聞き取りの実施、記録の更新）。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	4人	2人	12人

前回の改善計画	・地域とのつながりがあるか、つながりを希望しているかをもう一度確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者との日頃の会話やアセスメント情報、日々のミーティングなどで、利用者本人の生活スタイルや人間関係について理解を深めることができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	人	8人	4人	0人	12人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0人	7人	5人	0人	12人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人	5人	5人	1人	12人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0人	4人	6人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・訪問時に本人が自宅の近隣住民と関わりや付き合いがあるか意識するようにしている。 ・今年度新たに開設したサービス付き高齢者向け住宅に入居された方については、生活スタイルが把握しやすくなった。 ・利用者との日頃の会話やアセスメント情報、日々のミーティングなどで、利用者本人の生活スタイルや人間関係について理解を深めることができている。 ・家族介護者との関係が切れないように配慮できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・限られた訪問や送迎時間に、近所付き合いや知人友人の往来・関わりを把握するのは難しい。 ・地域交流がまだまだ浅いと思う。 ・自宅の中に入ってその方の生活をつぶさに見る機会がないため、現在の生活の現状を把握・理解できないこともある。 ・地域の行事（サロン、敬老会、食事会等）に参加するための付き添いが難しい。 ・地域の方や外部の方と共同していくには相当な時間と労力が必要であるため、余裕の無さから事業内だけで解決して今がゆえに、事業所が関わることで地域の方が手を放してしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・利用者本人の「地域とのつながり」に対する希望を把握し、希望される方への具体的なサポートを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	4人	0人	12人

前回の改善計画	・現在援助可能な外部支援は取り入れ、本人、家族の状態、ニーズの変化には対応できているので、それを継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングの定期開催により、本人・家族介護者等の思いに傾聴し、柔軟なサービス調整や外部支援との連携により不満・不安を解決することができている。薬局、買い物支援や配食サービス等の生活支援サービスとも密な連携が取れている。 ・

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3人	5人	3人	1人	12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4人	5人	3人	0人	12人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4人	6人	2人	0人	12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3人	8人	1人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族等介護する側の思いに傾聴し、柔軟なサービス調整や外部支援との連携により不満・不安を解決することができている。 ・生協の移動販売車等の買い物支援（お買い物バス）や配食サービス（弁当配達等）調剤薬局からの配達支援を活用できている。 ・現場内での過剰な支援があるのではないかという視点や気づきが増えてきており、チーム内での共有化が図れている。 ・緊急性の高い案件に関しては対応できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の経済的な理由からニーズに適合した対応が行えない場合がある。 ・小規模で行うべき支援と外部に依頼する支援の境界が不明確であり、地域資源を活用した支援がまだまだ不足していると感じる。 相互に補い合える体制が構築できればと思う。 ・予防的な観点や家族の介護負担軽減により在宅生活を長く継続していただくための支援を「過剰介護」「手間」と捉える職員もあり、現場職員から不満の声が上がることも少なくない。介護職員が携わるサービス量が多く、ありがたい姿とのギャップが生じている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・内部支援と外部支援のすみ分けと協力体制をさらに進め、本人・家族介護者の状況に応じた柔軟な対応を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

6. 連携・協働

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	6人	2人	1人	12人

前回の改善計画	・担当学会議には担当介護職員も参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者が意識をもって担当学会議に臨み参加できるようになっている。地域の保育園や小中学校や各ボランティアとの交流、介護やすらぎカフェ、福祉委員会、医療機関や関係事業所との連携は継続して図ることができている。 ・職員によっては担当の利用者の担当学会議に参加したことがない。付き添い職員の不足から、地域の活動やイベントに参加できるような支援が十分にできていない。どうすればもっと地域の方と協力できるか分からない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3人	4人	2人	3人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0人	0人	7人	5人	12人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0人	1人	7人	4人	12人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	6人	3人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の保育園や小中学校と積極的な交流が保てている。栗野南小学校の（下校）見守り隊の参加が定期実施できている。 ・年3回の介護やすらぎカフェにおいて、介護する側の家族の話に傾聴することができている。 ・ギターサークル、フラガール、その他のボランティアおよび福祉委員会との交流が図れている。 ・医療機関、訪問看護、福祉用具等と連携を取りながら、情報収集と共有が行えている。 ・担当者が意識をもって担当学会議に臨み参加できるようになっている。業務の都合をつけて参加してくれようとする職員が増えた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員によっては担当の利用者の担当学会議に参加したことがない。 ・付き添い職員の不足から、地域の活動やイベントに参加できるような支援が十分にできていない。 ・どうすればもっと地域の方と協力できるか分からない。・新たに開設されたサービス付き高齢者向け住宅を含め、地域住民が集える場所になっていない。 ・地域イベントへの参加は文化展のみであり、祭りは時期的に暑さもあり対応できていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・担当学会議には担当介護職員が利用開始時期から参加する。地域行事には事前にシフト調整を行い十分な体制で臨む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

7. 運営

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	4人	4人	4人	12人

前回の改善計画	・年6回の運営推進会議に介護職員も順番に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・管理者、ケアマネジャー、介護リーダーについては定期出席できた。利用者、家族、地域、関係事業所の声を共有し、サービス提供に都度反映することができた。 ・体制上現場から介護職員が抜けることが難しく、（介護リーダー等）特定の職員しか参加できず、意見を言うことができていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0人	7人	4人	1人	12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	9人	2人	0人	12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	7人	4人	0人	12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0人	3人	8人	1人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・管理者、ケアマネジャー、介護リーダーについては定期出席できた。 ・利用者、家族、地域、関係事業所の声を共有し、サービス提供に都度反映することができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・体制上現場から職員が抜けることが難しく、（介護リーダー等）特定の職員しか参加できず、意見を言うことができていない。 ・シフト上、急に設定される会議には参加が難しい。 ・介護職員は順番に参加する仕組みがないため、参加の順番が回ってこない。 ・現場職員の運営推進会議に対する理解が乏しい。 ・利用者と共に地域に出る機会がなく、地域との関わりが薄い。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・介護職員も順番に運営推進会議に参加できるよう、年間の参加予定表の作成・運用と、勤務表作成時点での人員配置を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	2人	人	12人

前回の改善計画	・参加することが容易である職場内での研修（勉強会）を月に1回は行うよう計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・教育委員会、自主学習会、施設全体での内部研修、他事業所との共同研修会、外部研修への参加が定期実施できている。事故やヒヤリハット事例の共有も定着化し、リスクマネジメントとサービスの質向上の意識を高めることにつながっている。 ・日によっては人員に余裕がなく研修参加ができないこともある。部門全体のスキルアップや仕事の方向性・ケア方針の統一のためにも全員が参加できる仕組み作りや日程調整が必要。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4人	6人	1人	1人	12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	5人	3人	2人	12人
③	地域連絡会に参加していますか	人	2人	4人	6人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	6人	5人	人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・月1回の施設内研修（内部研修）は、勤務時間内である為、参加しやすい。 ・教育委員会、自主学習会、施設全体での内部研修、他事業所との共同研修会、外部研修への参加が定期実施できている。 ・事故やヒヤリハット事例を都度迅速に記録として起こし共有し、リスクマネジメントとサービスの質向上の意識を高めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・遅番・夜勤などの勤務形態や家事都合で、勉強会や会議に出席できないことがある。 ・施設外研修については、家族の都合により参加できないことがある。 ・日によっては人員に余裕がなく研修参加ができないこともある。 ・現場体制や諸事情により特定の職員の不参加が目立つ。部門全体のスキルアップや仕事の方向性・ケア方針の統一のためにも全員が参加できる仕組み作りや日程調整が必要。学習会の重要性を全員が理解することが大切である。 ・月1回の自主学習会は業務都合上開催が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・職員全員が学習の場の重要性を意識する。偏りなく全員が参加できる日程調整と参加促進を継続する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日木曜日（16:30～17:00）

9. 人権・プライバシー

メンバー （常勤）松見、樋口、河瀬（非常勤）坪塚、渡辺、西澤、中村、橋本、上原、窪、槇、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・休憩室でのプライベートな会話では、利用者に関わることはしないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・休憩場所が別になったためプライバシーが守られるようになり、利用者に関する話はしないように心がけることができている。権利擁護（身体拘束・虐待防止）の研修を実施し、現場での実践が行えている。トイレや入浴介助時にプライバシー保護を意識した個別ケアが行えている。フロア内でもパーソナルな話は聞こえ漏れていないか常に意識できている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8人	4人	人	人	12人
②	虐待は行われていない	10人	2人	人	人	12人
③	プライバシーが守られている	4人	8人	人	人	12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	2人	2人	4人	12人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	5人	人	人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・休憩場所が別になったためプライバシーは守られるようになった。 ・利用者に関する話はしないよう、プライバシー保護に心がけることができている。 ・権利擁護（身体拘束・虐待防止）の研修を実施し、現場での実践が行えている。トイレや入浴介助時にプライバシー保護を意識した個別ケアが行えている。 ・現場内のコンプライアンス遵守や権利擁護の体制は構築されている。 ・フロア内でパーソナルな話は聞こえ漏れていないか常に意識できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・その日の出来事（ケア内容）について話してしまうことがあるため、ミーティングを活用していきたい。 ・ミーティングで話しきれないことを休憩中に相談している現状がある。 ・研修で成年後見制度について学習する機会がほとんどないため、知識にバラつきがあり活用が難しいと感じるケースもある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・成年後見制度に対する理解を深める（研修の実施）	